

7 安全・安心の確保

2 犯罪抑止及び交通事故防止対策の推進

主担当部局(長)名
警察本部長 遠藤 雅人
危機管理監 上田 博文

目指す姿

犯罪やトラブルの未然防止対策及び交通事故防止対策を推進することにより、日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現を目指します。

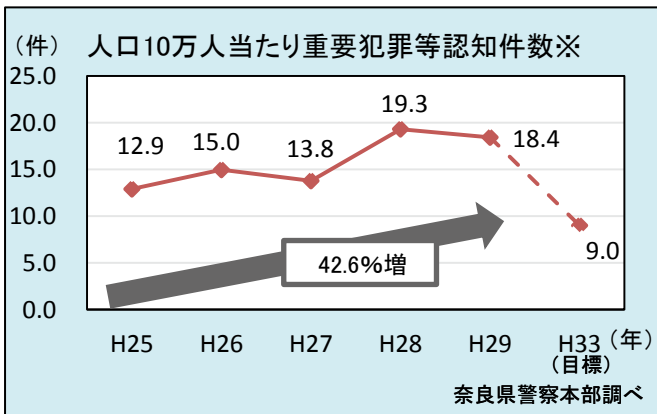


特殊詐欺防止のための声かけ訓練

主な成果

交通事故情報総合管理システムを活用した交通事故分析に基づく各種交通事故抑止活動を実施したことにより、3年連続で増加していた交通事故死者数が40人となり、前年より7人減少しました。

1. 政策目標達成に向けた進捗状況

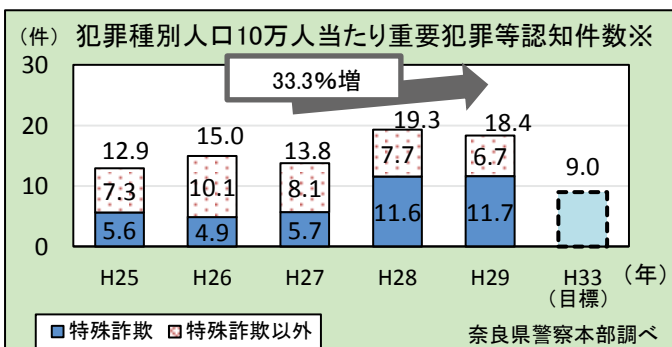


※は数値の低い方が良くなる指標

目標	社会を構成する多様な主体が一層連携し、治安を確保するための取組をきめ細かく重層的に展開して、県民の安全・安心を確保します。
成果	重要犯罪等を抑止するための諸対策により、平成29年中における人口10万人当たり重要犯罪等認知件数は18.4件で、前年より0.9件減少しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成33年末までに、刑法犯認知件数の総数を減少させつつ、特に重要犯罪等の発生を限りなくゼロ(犯罪発生率人口10万人当たり9.0件以下を目途)に近づけます。(平成27年:13.8件) ②平成33年末までに、凶悪犯罪(殺人、強盗、放火、強制性交等)の検挙率100%を目指します。(平成27年:86.1%) ③平成33年末までに、交通事故による死傷者数を減少させつつ、特に交通事故死者数を限りなくゼロ(25人以下を目途)に近づけます。(平成27年:46人)
------	--



※は数値の低い方が良くなる指標

目標	平成33年末までに、刑法犯認知件数の総数を減少させつつ、特に重要犯罪等の発生を限りなくゼロ(犯罪発生率人口10万人当たり9.0件以下を目途)に近づけます。(平成27年:13.8件)
成果	全国的に増加している特殊詐欺対策として、ATMでの一部振込利用制限等を講じた結果、平成29年中における人口10万人当たり特殊詐欺認知件数は、微増に留まりました。